

ドリームスエフエム放送(株) 第 123 回番組審議会議事録

1 開催日時

令和 3 年 10 月 26 日(火)18 時 30 分～

2 開催場所

ドリームスエフエム放送(株) 本社

3 出席委員

審議委員:田中 優子、石井 秀夫、曾山 茂志、酒井 香、木下 真吾、菊池 宜将
放送事業者側:秋穂 真由美 内藤 圭祐

4 議 題

番組名:「大石ひろこの Music Msich-Masch !」(録音番組)

放送日時:毎週月曜日 16 時 30 分～17 時 00 分

パーソナリティ:大石ひろこ、トシ坊

*審議対象は 9 月 13 日放送分

5 番組内容

地元久留米の俳優・大石ひろこと謎の DJ トシ坊が月替わりのゲストを迎えて、昭和 20 年代から数年前までの様々な年代を振り返っていくトーク音楽番組です。これまでゲストに地元で活躍するタレントの山本カヨさんや川上正行さん、元プロ野球選手の若菜嘉晴さん、吉本亮さん、元チェッカーズの高杢禎彦さんなどが登場しました。(審議対象分には、桂文枝さんの弟子として東京で活躍し、福岡にも縁のある落語家の桂三四郎さんがゲスト出演)

6 審議内容

番組を視聴いただき、下記のような感想・意見を述べていただきました。

(委員意見)

- ① 年代ごとに切り口があり面白いと感じた。今回は 2018 年という切り口で構成され時台が変わっていくのが面白い点だと思う。落語家の方が出演されていたので笑いがあるというのもよかったと思うが、落語家の世界が「パワハラ」という言葉が気になった。落語家の世界がそういうものではないと思うので、番組の中で出てくるのはどうかと思った。
- ② 今回初めて聴いた番組で、昭和 20 年代から現在に近い年代まで振り返り、我々世代にとっては当時の音楽を聴ける、非常に面白い企画だと思った。
- ③ ゲストの「るみぞう」という名前が聞き取りにくかった。司会の大石さんは温かみがあった。
- ④ 「村度とパワハラの世界」「労働基準法関係ない世界」という表現が笑いをとるためかもしれないが、身もふたもなく、冗談がきついと思った。

- ⑤ 将棋棋士の藤井聡太さんは、2018 年当時は四段だったが、今は九段なので現在の呼び名でお伝えした方がいい。
- ⑥ 落語界について「パワハラ、忤度がある」「うまく付き合って、忤度される側に回る」という表現は「前にこういうことがあった」と付け加えたり、司会のパーソナリティがフォローをしたほうが良かったのではと思う。
- ⑦ 漫画のキャラクターを超えているような存在として、藤井聡太さん、大谷翔平さんが出てきたが、男性側の凄さを強調しているようにも聞こえ、聴く側に男性側の凄さが知らないうちに刷り込まれてしまうことがあるかもしれないので、女性のキャラクターのすごい部分を付け加えるなどしたほうが良かったと思う。
- ⑧ 昭和 58 年生まれなので、過去を振り返るという内容は、自分自身いろいろと知ることが出来た。おかしいなと思うところはなく、楽しく聞くことが出来た。
- ⑨ 司会のトシ坊さんとゲストの落語家・桂三四郎さんが話している時間が多かったのなるべく均等にお話が聞けると、よりよかったのではないかと思った。
- ⑩ 国内の出来事だけでなく、海外のニュースも取り上げられていて、興味深かったが海外のニュースの分量がもう少し多くても良かったのではないかと感じた。

7 審議機関の答申又は意見の概要の公表

自社ホームページへ掲載

8 次回の審議委員会は、令和 4 年 2 月下旬に行う予定